

# 平成24年度公益財団法人国際エメックスセンター事業報告書

## I. 事業の実施

### 1 閉鎖性海域環境保全推進事業

#### ア 第10回世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス10）の開催準備等

##### （1）第15回科学・政策委員会の開催

第15回科学・政策委員会を神戸で開催し、エメックス10の開催概要及びエメックス11の開催候補地等について協議を行った。

〔期 間〕平成24年（2012年）6月14日（木）～6月15日（金）

〔会 場〕ラッセホール（神戸）

〔参集者〕科学・政策委員20名（国内10名・海外10名）



##### 【協議結果】

##### ① エメックス10の開催

〔期 間〕平成25年（2013年）10月30日（水）～11月3日（日）

〔会 場〕グランドヤズジ・クラブターバンホテル（トルコ・マルマリス）

〔開催方法〕エメックスセンター・MEDCOAST財団ジョイント開催（EMECS10-MEDCOAST2013）

〔テーマ〕“*Global Congress on Integrated Coastal Management: Lessons Learned to Address New Challenges*”

「統合的沿岸域管理（ICM）に関するグローバル・コンGRESS：教訓から新たな挑戦へ」（仮訳）

〔委員選出〕現地MEDCOAST財団側で組織されるプログラム委員会（EPC）や青少年環境教育交流セッション（SSP）の運営委員会に参画するエメックス側委員を選出した。

##### ② エメックス11開催候補地の検討

コシヤン科学・政策委員（ロシア）のプレゼンテーションを踏まえ、平成28年（2016年）にロシアで開催することについての合意がなされた。

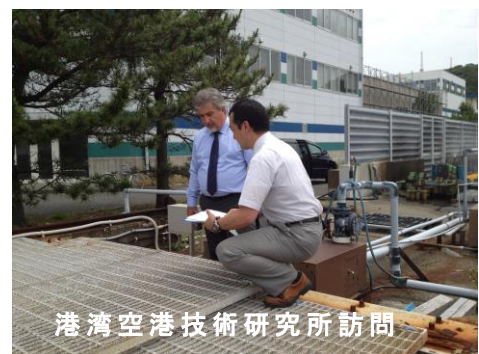
〔開催時期〕平成28年（2016年）8月

〔開催場所〕ロシア

（サントペテルブルク）

##### （2）国内関係者への参加要請活動

エメックス10開催に向けて、日本国内からの幅広い参加を呼びかけるため、大学・関係機関を訪問して情報提供と参加要請





〔参加者〕 約 80 名

〔内 容〕

- ・座 長 柳 哲雄 九州大学応用力学  
          研究所教授  
          （国際エメックスセンター  
          科学・政策委員会副委員長）
- ・講演① 「里海について、現状と将来  
          展望」  
          柳 哲雄 九州大学応用力学研究所教授
- ・講演② 「日本におけるICMへの取組の10年」  
          古川 恵太 国土交通省国土技術政策総合研究所沿岸海洋新技術研究官  
          （国際エメックスセンター科学・政策委員会委員）
- ・講演③ 「アジア太平洋地域における10大河川流域の社会及び環境の課題の概要」  
          オリ・ヴァリス アールト大学教授（フィンランド）  
          （国際エメックスセンター科学・政策委員会委員）
- ・講演④ 「EMECS10-MEDCOAST2013への誘い」  
          エルダール・オザーン MEDCOAST 財団会長（トルコ）  
          （国際エメックスセンター科学・政策委員会副委員長）



## エ 国内外機関との連携

### ① PEMSEA（東アジア海域環境管理パートナーシップ）との連携

韓国で開催された東アジア海域会議（EAS Congress 2012）において、松田治科学・政策委員会委員が、里海に関する発表を行うとともに、ブース出展（パネル展示等）によるエメックス活動のPRを行った。

〔期 間〕平成24年（2012年）7月9日（月）  
          ～13日（金）

〔場 所〕大韓民国（昌原市）

〔主 催〕PEMSEA（東アジア海域環境管理パートナーシップ）

〔ブース出展〕里海パネル及び当センター活動紹介パネル（事務局対応）



PEMSEA（The Partnerships in Environmental Management for the Seas of East Asia）は、平成20年（2008年）に非政府パートナーとして加入した国際的組織で、平成21年にフィリピンで開催された東アジア海域会議（EAS Congress 2009）では、PEMSEA事務局と共催で里海セッションを開催した。

## ② ECSA（河口域・沿岸科学学会）との連携

イタリアで開催されたECSA50会議において、EMECSセッションの開催及び、EMECS-ECSA学生賞（優秀な若手研究者2名）の授与を行い、エメックス活動の普及を図った。

〔期 間〕平成24年（2012年）6月3日（日）～7日（木）

〔場 所〕イタリア（ベニス）

〔対応者〕ウォランスキー科学・政策委員会委員  
（オーストラリア）

陳科学・政策会委員（中国）



EMECS-ECSA学生賞

ECSA（Estuarine & Coastal Sciences Association）は、2006年開催のエメックス7開催にあたり共催し国際的な学会で、主にヨーロッパの科学者が参加している。

## オ 調査研究事業

### （1）尼崎港実証実験施設の活用

水質や底質、生物の生息環境の劣化等の進んだ湾奥部の環境の再生をめざして、尼崎港に設置している人工干潟等の実証試験施設について、関係大学や研究機関と連携して閉鎖性海域における環境保全・創造方策に関する調査研究の場として活用を図った。



人工干潟での実験状況

〔主な研究機関〕徳島大学・大阪府立大学・兵庫県環境研究センター等

### （2）調査研究事業に向けた検討

年度当初、「ICM（統合的沿岸域管理）の実体化と里海の役割等に関する調査研究」として、里海活動やICM等の国内及び国際的な知見・情報の収集・解析、優良実践事例等に関する調査研究を通じて、日本の沿岸域の適切な管理や環境保全に関する施策の推進に資する事業を実施する予定であった。

しかしながら、平成24年（2012年）3月の公益法人への移行を機に、エメックスセンターが取り組むべき中長期的な調査研究テーマの検討及び外部資金活用も視野においた事業を展開する必要が認識されたため、環境省はじめ学識経験者による検討会を開催し、次年度以降の事業検討を行った。

・平成24年（2012年）5月7日（月）（環境省会議室）

「エメックスセンターの今後の取り組み方向について」  
鈴木会長、環境省、事務局

- ・平成24年（2012年）7月24日（火）（東京国際フォーラム）
- 「今後の調査研究テーマについて」「競争的資金獲得について」
- 鈴木会長、中央環境審議会瀬戸内海部会長、瀬戸内海研究会議会長
- エメックスセンター正副科学政策委員長、環境省、事務局

## 2 情報収集整備活用事業

### ア 情報収集・提供システムの運用・管理

閉鎖性海域の環境保全と適正な利用に関する情報収集・情報発信のため、エメックス会議に関する各種情報（開催案内、論文募集情報等）の提供、エメックス会議・エメックス国際セミナー等の開催概要、エメックスセンターの活動内容（出版・調査研究実績等）等について、ホームページ（日本語・英語）に情報を適時に掲載するなどインターネットを通じた情報発信を行った。



### イ エメックスニュースの発行等

当センターの活動状況、世界の閉鎖性海域の環境保全活動等を掲載した、エメックスニュース（日本語・英語）を発行した。

また、会議開催案内、論文募集等タイムリーな情報発信が必要な内容について、メール配信システム（メルマガ（日本語・英語））を利用して、情報のタイムリーな提供を行った。



#### 【エメックスニュース第33号】

[発行日] 平成24年（2012年）12月25日

[内容]

- ・国際エメックスセンター、公益財団法人へ移行
- ・EMECS10-MEDCOAST2013 ジョイント会議
- ・エメックス国際セミナー開催
- ・科学と政策の動向(6)（シリーズ）
- ・新任科学・政策委員からのご挨拶
- [配付] ・ホームページからのダウンロード（メルマガで周知）

### 3 人材育成・普及啓発事業

#### ア 開発途上国の行政官への統合的水環境管理研修（国際協力機構JICA受託）

我が国の閉鎖性海域における環境保全の経験を基に、開発途上国の中堅行政官を対象とした「沿岸域・内海およびその集水域における統合的水環境管理研修」を独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託により実施した。

[研修期間] 平成24年（2012年）9月4日（火）～11月2日（金）

[研修リーダー] 松田 治 広島大学名誉教授  
（瀬戸内海研究会議会長）



船上での水質調査実習

[研修内容]

講義	環境管理、水質保全等に係る基礎理論及び対策
実習	水質モニタリング、生物モニタリング、アクションプラン作成等
現地見学	沿岸海域環境に関する研究施設、排水処理施設、環境教育現場等

[研修員] 7カ国（中国・キューバ・エジプト・グルジア・イラン・マーシャル諸島・トルコ）から11名（中央政府の環境関係中堅行政官・研究所研究員等）

[これまでの受入実績] 31カ国162名（平成2～24年度）

#### イ 海の環境学習人材育成事業

将来の海の環境保全を担う人材を育成するため、尼崎港に設置している人工干潟・石積堤等の環境修復実証実験施設等を活用し、主として阪神間の小学生や地域住民等を対象に、海の機能、浅場の機能や役割、大阪湾・尼崎港の現状、海の生物とその働き等を内容とする環境学習を実施した。

[実施場所] 尼崎港内の実証試験施設及び武庫川下流浄化センター会議室

[実施回数] 4回

[参加者数] 184名（尼崎明城小学校ほか）

[プログラム内容]

- ・環境教育DVD「きれいな海をとりもどそう」の視聴
- ・二枚貝を使った海水浄化実験（体験学習）
- ・パックテストによる水質測定（体験学習）
- ・人工干潟等での生物採取と観察（体験学習）
- ・海中プランクトンの顕微鏡観察（体験学習） 他



人工干潟での生き物観察

## ウ 環境イベントへの出展等

エメックス活動の普及啓発と閉鎖性海域の環境情報発信のため、環境イベントの機会をとらえて里海紹介、エメックスセンター紹介パネル出展等を行った。

[ひょうごエコフェスティバル2012]

平成24年（2012年）11月10日(土)～11日(日)  
(姫路市大手前公園)



## Ⅱ. 理事会、評議員会の開催

### 1 理事会の開催

#### ア 第2回理事会の開催

平成23年度の事業報告及び収支決算報告について承認、専務理事及び科学・政策委員会委員の選任等を行うとともに、当センターの今後の活動について意見交換を行った。

[開催月日] 平成24年5月16日(月)

[開催場所] 兵庫県公館第2会議室

[議案等] 議案第1号 平成23年度財団法人国際エメックスセンター事業報告に関する件  
議案第2号 平成23年度公益財団法人国際エメックスセンター事業報告に関する件  
議案第3号 平成23年度財団法人国際エメックスセンター決算報告に関する件  
議案第4号 平成23年度公益財団法人国際エメックスセンター決算報告に関する件  
議案第5号 基本財産の指定に関する件  
議案第6号 専務理事の選任に関する件  
議案第7号 評議員選定委員会の外部委員の補充選任に関する件  
議案第8号 科学・政策委員会委員の選任に関する件  
議案第9号 評議員会の招集に関する件  
報告第1号 評議員の補充選任について  
報告第2号 参与の設置について  
報告第3号 第10回エメックス会議について  
報告第4号 科学・政策委員会及び国際セミナーの開催について

## イ 第3回理事会の開催

平成24年度の事業計画及び収支予算の変更、平成25年度の事業計画及び収支予算等について議決を得るとともに、主要事業について意見交換を行った。

[開催月日] 平成25年2月20日(水)

[開催場所] 兵庫県公館第2会議室

[議案等] 議案第1号 平成24年事業計画の変更に関する件  
議案第2号 平成24年度収支予算の変更に関する件  
議案第3号 平成25年度事業計画に関する件  
議案第4号 平成25年度収支予算に関する件  
議案第5号 評議員会の招集に関する件  
報告第1号 平成24年度事業進捗状況  
報告第2号 第10回世界閉鎖性海域環境保全会議(EMECS10)について

## 2 評議員会の開催

### ア 第2回評議員会の開催

平成23年度の事業報告について同意、収支決算報告について議決及び監事の補充選任を行うとともに、当センターの今後の活動について意見交換を行った。

[開催月日] 平成24年5月29日(火)

[開催場所] 兵庫県職員会館特別会議室

[議案等] 議案第1号 平成23年度財団法人国際エメックスセンター決算報告に関する件  
議案第2号 平成23年度公益財団法人国際エメックスセンター決算報告に関する件  
議案第3号 監事の補充選任に関する件  
報告第1号 平成23年度財団法人国際エメックスセンター事業報告について  
報告第2号 平成23年度公益財団法人国際エメックスセンター事業報告について  
報告第3号 基本財産の指定について  
報告第4号 専務理事の選任について  
報告第5号 評議員選定委員会の外部委員の補充選任について  
報告第6号 科学・政策委員会委員の選任について  
報告第7号 参与の委嘱について  
報告第8号 第10回エメックス会議について  
報告第9号 科学・政策委員会及び国際セミナーの開催



について

**イ 第3回評議員会の開催**

平成24年度の事業計画及び収支予算の変更、平成25年度の事業計画及び収支予算について同意を得るとともに、当センターの今後の活動について意見交換を行った。

[開催月日] 平成25年3月14日(木)

[開催場所] 兵庫県職員会館特別会議室

[議案等] 報告第1号 平成24年度事業計画の変更に関する件  
報告第2号 平成24年度収支予算の変更に関する件  
報告第3号 平成25年度事業計画に関する件  
報告第4号 平成25年度収支予算に関する件  
報告第5号 平成24年度事業進捗状況について